

自立支援医療診断書・精神障害者保健福祉手帳用診断書

作成支援ツール ユーザーズマニュアル

Ver.1.0

(2008.12.20 発行)

【 目 次 】

1. 事前準備

1. 1 マクロのセキュリティ設定の変更

2. システムの起動

3. システムチェックおよび入力規制内容

3. 1 入力規制

3. 2 正当性チェック

3. 3 必須入力チェック

※本マニュアルは、製品の正式版マニュアルから、一部抜粋したものです。

本マニュアルでは、「自立支援衣装診断書.xls」と「精神障害者保健福祉手帳.xls」の操作方法はほとんど違いがないため、基本的に「自立支援」の説明のみ記載します。

双方で違いがある場合に限り、それぞれに分けて記載してあります。

また、本マニュアルは、Microsoft Excelのマニュアルと合わせてご利用ください。

1. 事前準備

1. 1 マクロのセキュリティ設定の変更

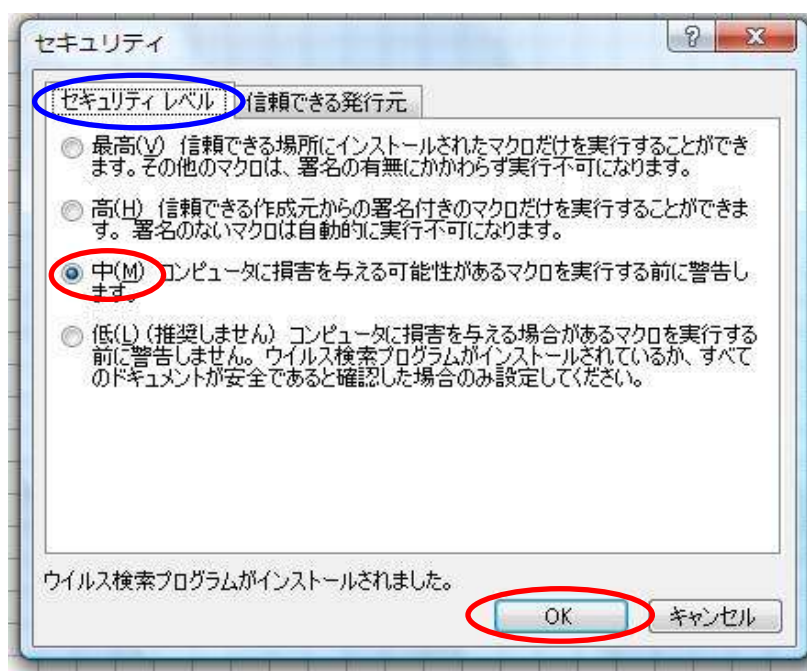
【EXCEL 2003以前のバージョンの場合の設定】

①エクセルを開きます。

②メニューバーの「ツール」⇒「マクロ」⇒「セキュリティ」を選択します。



③セキュリティ設定画面が表示されますので、「セキュリティレベル」タブで、オプションボタンの「中」を選択し、「OKボタン」を押下します。

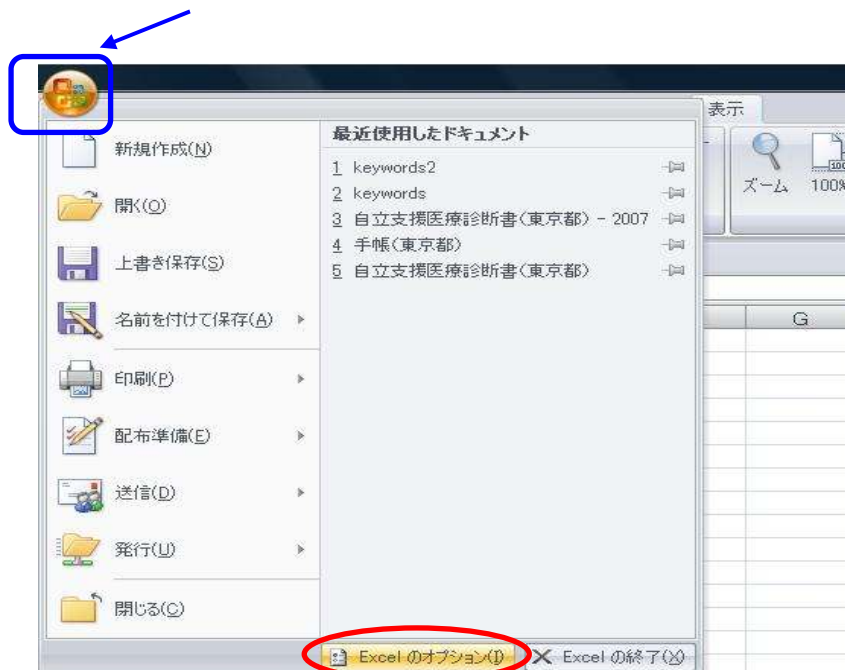


④以上でマクロのセキュリティ設定は終了です。エクセルを閉じてください。
次回エクセルを起動したときは、上記の設定が反映された状態となります。

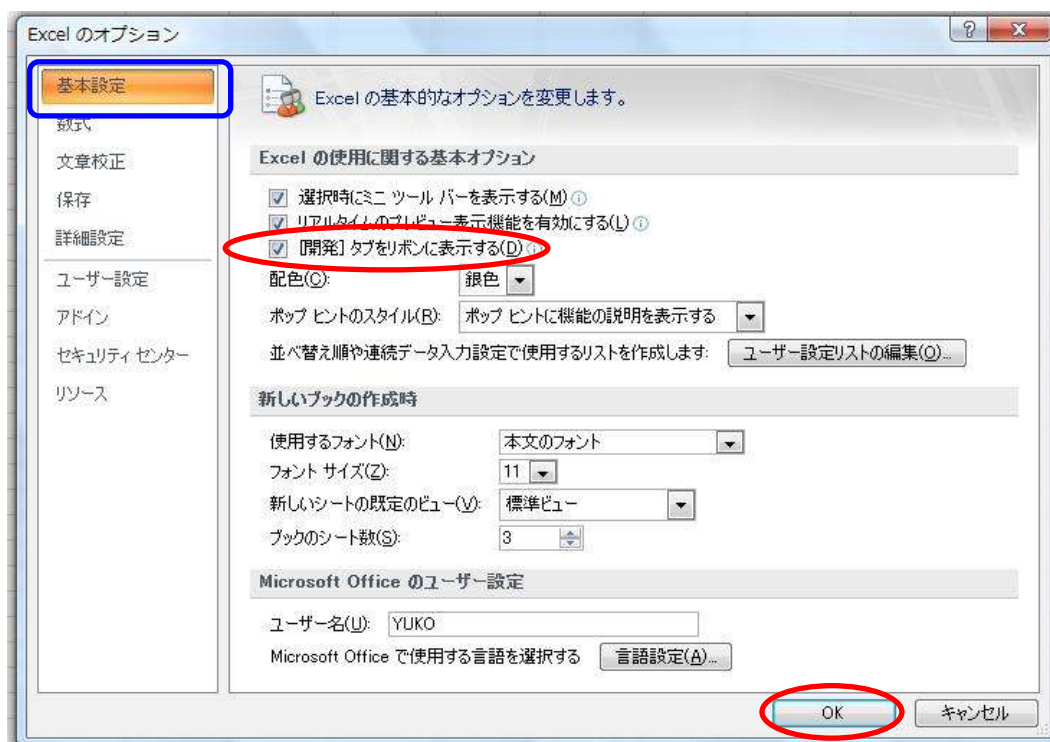
【EXCEL 2007の場合の設定】

①エクセルを開きます。

②画面左上にある「Microsoft Officeボタン」をクリックし、「Excelのオプション」をクリックします。

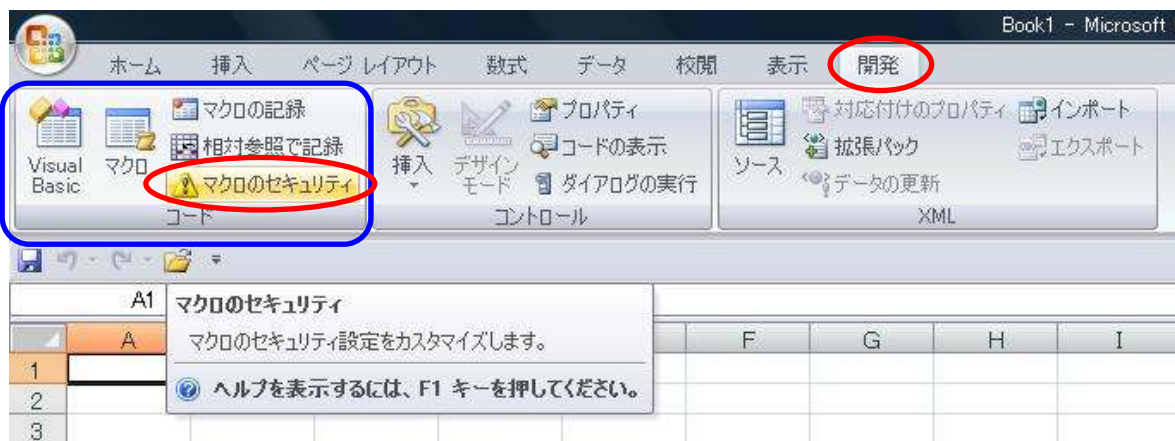


③Excelのオプション設定画面が表示されますので、「基本設定」で、「[開発]タブをリボンに表示する」のチェックボックスをチェック状態にし、「OKボタン」を押下します。

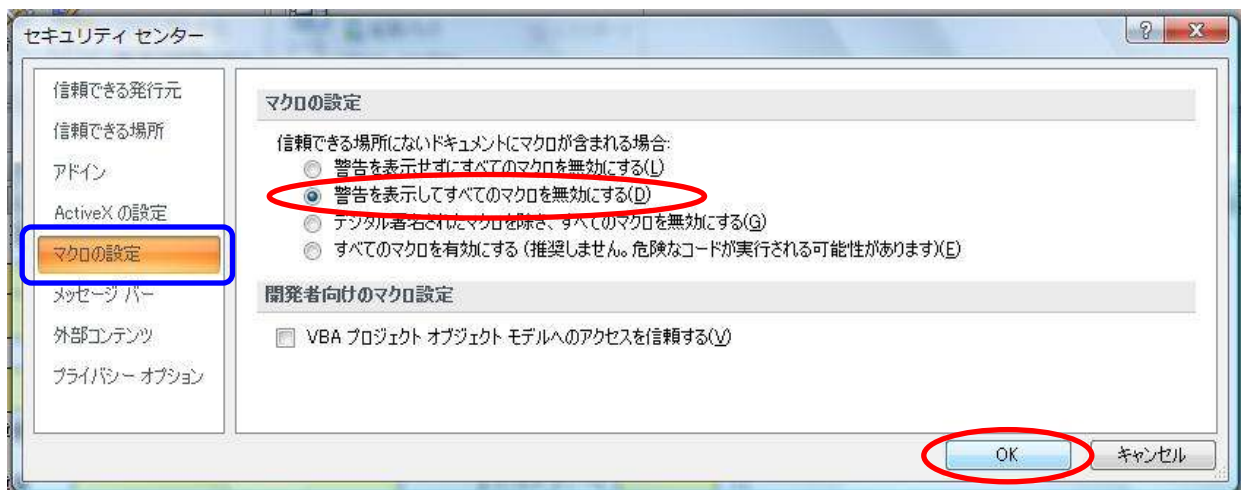


④Excelのオプション設定処理が終了し、リボンに「[開発]タブ」が表示されていることを確認します。

⑤リボンから**「開発」**タブを選択し、**「コード」**グループの中の**「マクロのセキュリティ」**をクリックします。



⑥セキュリティ設定画面が表示されますので、**「マクロの設定」**で、オプションボタンの**「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」**を選択し、**「OKボタン」**を押下します。



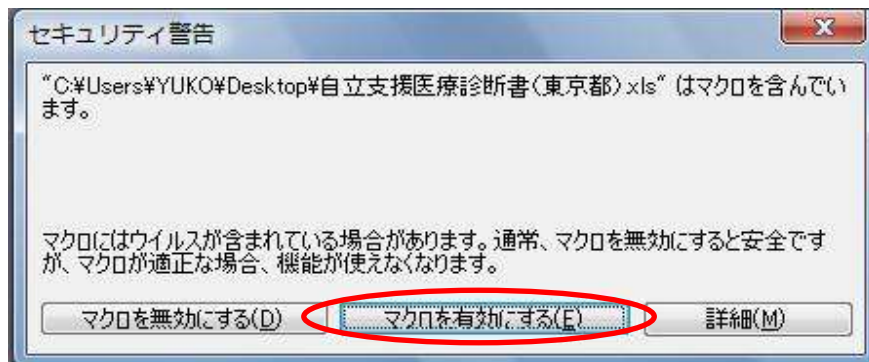
⑦以上でマクロのセキュリティ設定は終了です。エクセルを閉じてください。
次回エクセルを起動したときは、上記の設定が反映された状態となります。

2. システムの起動

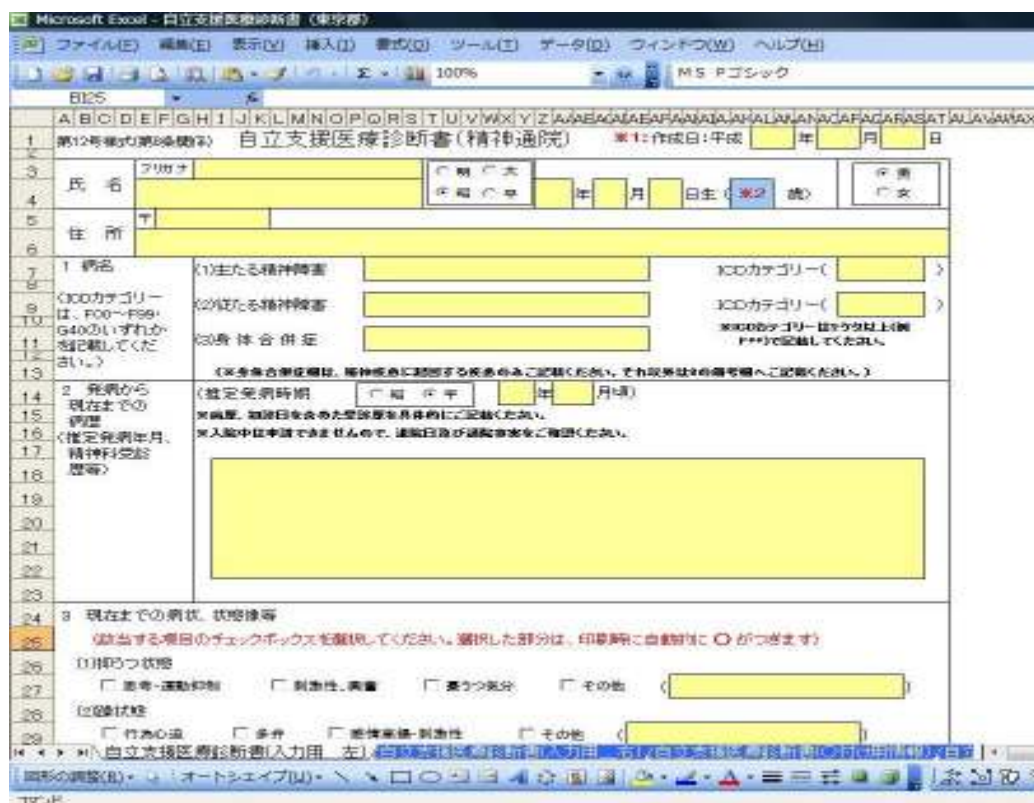
エクセルファイルを開けば、その他の操作は特に必要ありません。
ただし、マクロを有効にする必要があります。
マクロを有効にする方法を以下に示します。

【EXCEL 2003以前のバージョンの場合の操作】

①ファイルを開くと、セキュリティ警告画面が表示されますので、「マクロを有効にする」をクリックします。



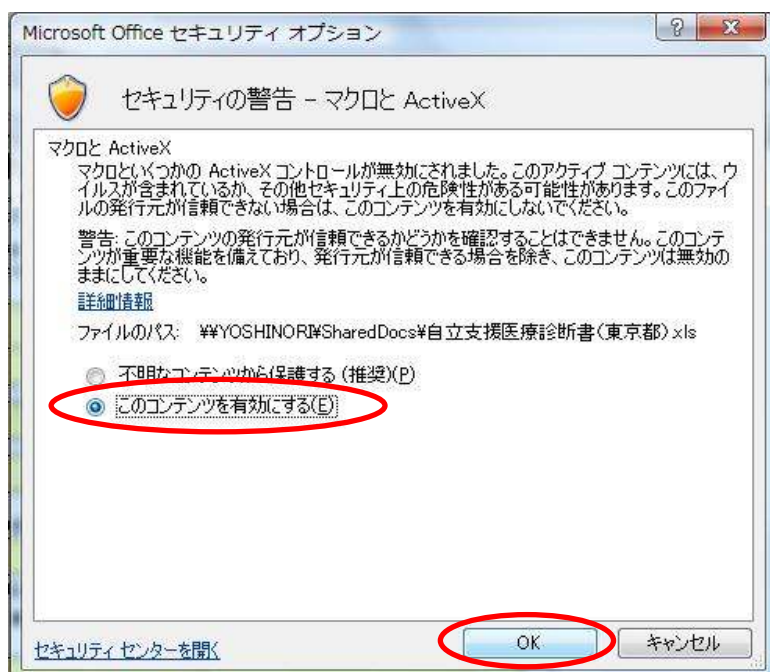
②これでファイルが正常に開かれますので、システムの起動は終了です。



【EXCEL 2007の場合の操作】

①ファイルを開くと、セキュリティの警告が表示されますので、「オプション」をクリックします。

②セキュリティオプション画面が表示されますので、オプションボタンで「このコンテンツを有効にする」を選択してOKボタンを押下します。



③これでファイルが正常に開かれますので、システムの起動は終了です。

自立支援医療診断書(東京都) [互換モード] - Microsoft Excel

ホーム 挿入 ページ レイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発

貼り付け クリップボード

MS Pゴシック 9 A A

B I U

フォント

配置

折り返して全体を表示する

セルを結合して中央揃え

標準

数値

条件付き書式

A1 第12号様式(第8条関係)

第12号様式(第8条関係) 自立支援医療診断書(精神通院) *1: 作成日:平成 年 月 日

氏名 フリガナ 氏名 明 大 昭 平 年 月 日生 (*2 歳) 男 女

住所 〒

1 病名 (1)主たる精神障害 ICDカテゴリー() (2)従たる精神障害 ICDカテゴリー() (3)身体合併症 *ICDカテゴリーは2ケタ以上(例 F**)で記載してください。 (*身体合併症欄は、精神疾患に起因する疾患のみご記載ください。それ以外は8の備考欄へご記載ください。)

2 発病から現在までの病歴 (推定発病年月、精神科受診歴等) (推定発病時期 昭 平 年 月頃) *病歴、初診日を含めた受診歴を具体的にご記載ください。 *入院中は申請できませんので、退院日及び通院事実をご確認ください。

3 現在までの病状、状態像等 (該当する項目のチェックボックスを選択してください。選択した部分は、印刷時に自動的に ○ がつきます)

(1)抑うつ状態

自立支援医療診断書(入力用) 左 自立支援医療診断書(入力用) 右 自立支援医療診断書(印刷用) 自立支援医療診断書(印刷用) 自立支援医療診断書(印刷用)

コマンド

3. システムチェックおよび入力規制内容

本システムでは、大きく3つのチェック(入力規制も含む)を行っています。
以下に、チェック内容について記載します。

3. 1 入力規制

入力不可のものについては、入力時にメッセージを表示します。
入力ミスをできるだけ削減するための入力規制機能です。

【自立支援医療診断書】

- | | |
|-----------|---|
| ①作成日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ②生年月日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ③推定発病時期 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可 |
| ④精神医療従事年数 | 0以上の整数のみ入力可 |

【精神障害者保健福祉手帳】

- | | |
|---------|---|
| ①作成日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ②生年月日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ③初診年月日 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可
日:1～31までの整数のみ入力可 |
| ④推定発病時期 | 年:1以上の整数のみ入力可
月:1～12までの整数のみ入力可 |

3. 2 正当性チェック

入力時のみのチェックが難しいものについては、印刷用シート作成処理の中でチェックを行います。
入力ミスをできるだけ削減するためのチェック機能です。

【自立支援医療診断書】

- ①作成日
 - ・日付の正当性チェック(例えば、4月31日がエラーになる等)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01101)
- ②生年月日
 - ・日付の正当性チェック(同上)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01102)
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「明(明治)」の場合:年については、1～45までの整数のみ正当
年号が「大(大正)」の場合:年については、1～15までの整数のみ正当
年号が「昭(昭和)」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平(平成)」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01103)
 - ・作成日との連動チェック
「生年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01104)
- ③推定発病時期
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「昭(昭和)」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平(平成)」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01105)
 - ・作成日との連動チェック
「推定発病時期」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01106)
 - ・生年月日との連動チェック
「推定発病時期」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01107)
- ④主たる精神障害
 - ・ICDの正当性チェック(F00～F99およびG40のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01108)
- ⑤従たる精神障害
 - ・ICDの正当性チェック(F00～F99およびG40のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01109)
※ただし、「従たる精神障害」は必須入力項目ではないため、上記のチェックは「従たる精神障害」が入力されていた場合のみ行う。
 - ・入力チェック
「従たる精神障害のICD」が正しく入力されていて、かつ「従たる精神障害」が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01110)

⑥現在までの病状、状態像等

(1)抑うつ状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01111)

(2)躁状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01112)

(3)幻覚妄想状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01113)

(4)精神運動興奮及び昏迷の状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01114)

(5)統合失調症等残遺状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01115)

(6)情動及び行動の障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01116)

(7)不安及び不穏状態

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01117)

(8)けいれん及び意識障害

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01118)

(9)精神作用物質の乱用及び依存

「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01119)

※逆に、上記(1)～(9)までで、「その他」のチェックボックスにチェックがされていない状態で、「その他」の項目に入力がある場合は、チェックボックスがチェックされたものとみなして、印刷用シートを作成します。

【精神障害者保健福祉手帳】

- ①作成日
- ・日付の正当性チェック(例えば、4月31日がエラーになる等)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01201)
- ②生年月日
- ・日付の正当性チェック(同上)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01202)
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「明(明治)」の場合:年については、1～45までの整数のみ正当
年号が「大(大正)」の場合:年については、1～15までの整数のみ正当
年号が「昭(昭和)」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平(平成)」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01203)
 - ・作成日との連動チェック
「生年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01204)
- ③初診年月日
- ・日付の正当性チェック(同上)
正当な日付ではない場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01205)
 - ・和暦年号との連動チェック
年号が「昭(昭和)」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平(平成)」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01206)
 - ・作成日との連動チェック
「初診年月日」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01207)
 - ・生年月日との連動チェック
「初診年月日」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01208)
- ④推定発病時期
- ・和暦年号との連動チェック
年号が「昭(昭和)」の場合:年については、1～64までの整数のみ正当
年号が「平(平成)」の場合:年については、1以上の整数のみ正当
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01209)
 - ・作成日との連動チェック
「推定発病時期」が、「作成日」よりも未来になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01210)
 - ・生年月日との連動チェック
「推定発病時期」が、「生年月日」よりも過去になっている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01211)
- ⑤主たる精神障害
- ・ICDの正当性チェック(F00～F99およびG40、G47のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01212)

- ⑥従たる精神障害
- ・ICDの正当性チェック(F00～F99およびG40、G47のみ正当)
上記以外は、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01213)
※ただし、「従たる精神障害」は必須入力項目ではないため、上記のチェックは「従たる精神障害」が入力されていた場合のみ行う。
 - ・入力チェック
「従たる精神障害のICD」が正しく入力されていて、かつ「従たる精神障害」が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01214)

⑦現在までの病状、状態像等

- (1)抑うつ状態
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01215)
- (2)躁状態
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01216)
- (3)幻覚妄想状態
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01217)
- (4)精神運動興奮及び昏迷の状態
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01218)
- (5)統合失調症等残遺状態
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01219)
- (6)情動及び行動の障害
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01220)
- (7)不安及び不穏状態
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01221)
- (8)けいれん及び意識障害
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01222)
- (9)精神作用物質の乱用及び依存
「その他」のチェックボックスにチェックがあり、かつ「その他」の内容が未入力状態のとき、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01223)

※逆に、上記(1)～(9)までで、「その他」のチェックボックスにチェックがされていない状態で、「その他」の項目に入力がある場合は、チェックボックスがチェックされたものとみなして、印刷用シートを作成します。

⑧生活能力の状態

1.現在の生活環境

「入所」が選択されていて、かつ「施設名」が未入力だった場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01225)

「入所」が選択されていない状態で、かつ「施設名」が入力されている場合、エラーメッセージを表示(エラーコード:ES01226)

3.3 必須入力チェック

必須入力項目で、未入力状態のものがあつた場合には、エラーメッセージを表示します。
入力忘れを削減するためのチェック機能です。

以下に示す項目が必須入力項目となります。

【自立支援医療診断書】

- ・作成日
- ・氏名(フリガナ)
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所(郵便番号)
- ・住所
- ・主たる精神障害、ICD
- ・推定発病時期
- ・発病から現在までの病歴
- ・現在までの病状、状態像等
 - チェックボックスが1つも選択されていない状態で、かつ「11.その他」の項目が未入力だった場合、エラーとする
- ・病状、状態像等の具体的程度、病状等
- ・現時の治療内容 (1)投薬内容
- ・現時の治療内容 (2)精神療法等
- ・今後の治療方針
- ・現在までの精神保健福祉サービスの利用状況
 - チェックボックスが1つも選択されていない状態で、かつ「その他」の項目が未入力だった場合、エラーとする

※上記の必須入力エラーについては、全てエラーコード:EH01101

【精神障害者保健福祉手帳】

- ・作成日
- ・氏名(フリガナ)
- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所(郵便番号)
- ・住所
- ・主たる精神障害、ICD
- ・初診年月日
- ・推定発病時期
- ・発病から現在までの病歴
- ・現在までの病状、状態像等
 - チェックボックスが1つも選択されていない状態で、かつ「11.その他」の項目が未入力だった場合、エラーとする
- ・病状、状態像等の具体的程度、病状等
- ・現在までの精神保健福祉サービスの利用状況
 - チェックボックスが1つも選択されていない状態で、かつ「その他」の項目が未入力だった場合、エラーとする

※上記の必須入力エラーについては、全てエラーコード:EH01201